

5 体験的な学習の充実を図る

体験的な学習の充実を図ることは、子どもたちに自ら学ぶ意欲や主体的に学ぶ態度を身に付けさせるとともに、学ぶ楽しさや成就感を体感させることにつながる。

伝統や文化にかかわって各教科等で習得すべき知識や技能についても、体験的な学習を取り入れることにより、子どものその後の学習や生活に活用できるものになることが期待できる。

- (1) 体験的な学習を積極的に取り入れ、実感の伴った伝統。文化の理解を深めさせる。
- (2) 外部講師に協力を求め、地域等の様々な施設を活用し、「本物」に触れることで子どもたちの学習意欲を喚起する。

伝統文化理解教育は、伝統や文化を単に継承するためのものではないことは言うまでもない。子どもたちが伝統や文化を学ぶ過程で、豊かな感性や創造力を育てるとともに、自分たちで伝統や文化を発展させていこうとする意欲を育むことが求められる。

外部講師に協力を依頼するに当たっては、あらかじめこうした学校の意図を伝えておくことが大切である。

